Innovation in Motion TSUBAKI

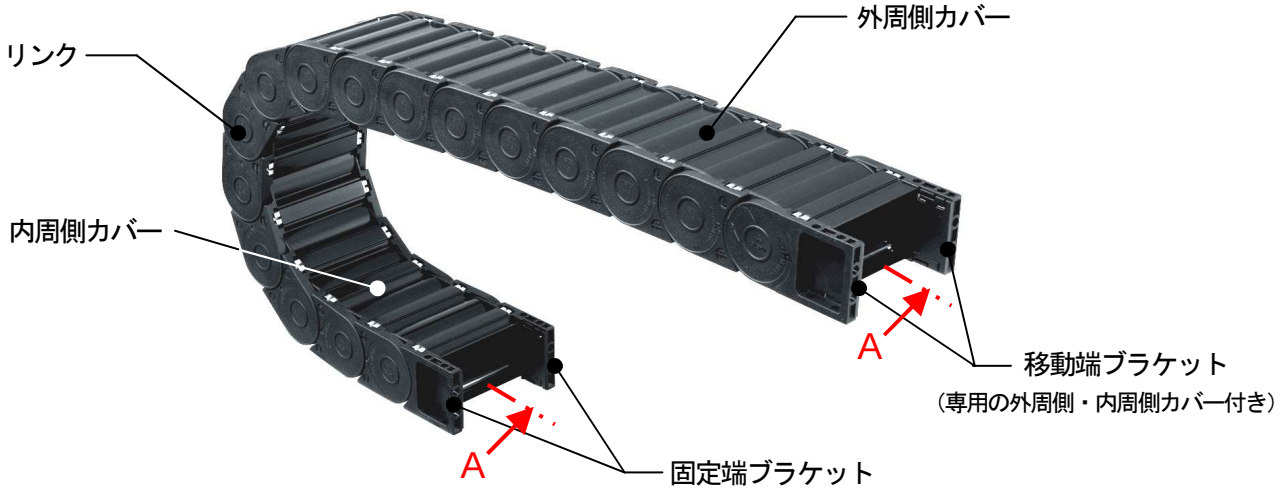
つばき　取扱説明書

ケーブルベヤ®

TKHT56H33 ・ TKHT67H46

（注）作業の際には適切な保護具（安全眼鏡、手袋、安全靴など）を着用してください。

1 構造・名称



※カバー断面（A－A）

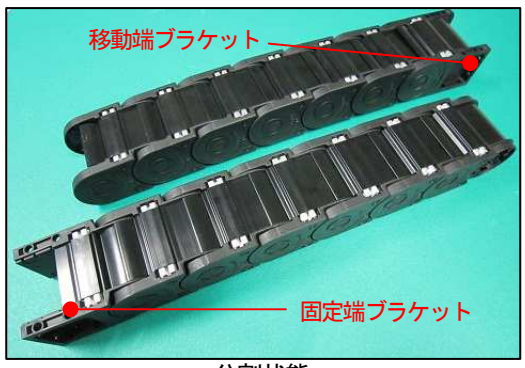
	固定端ブラケット部	本体部	移動端ブラケット部
外周側カバー	移動端側 内側	固定端側 外側 移動端側 内側	固定端側 外側
内周側カバー	d b 内側 移動端側 d＞b	a b 内側 外側 固定端側 移動端側 a＜b	a c 外側 固定端側 a＜c

2 納入状態

移動端ブラケット、固定端ブラケットはケーブルベヤ本体に組込んで納入します。
仕切板、ブラケット用クシ歯形ケーブルクランプ、ブラケット用クランプレールは、通常、部品にて納入します。
なお、ケーブルベヤ本体が定尺長さ（下記リンク数）を超える場合は、分割して納入いたします（右の写真参照）。

【定尺長さ（リンク数）】

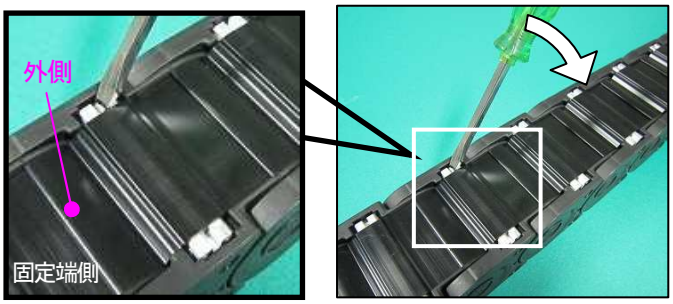
・TKHT56H33：72 リンク　　・TKHT67H46：60 リンク



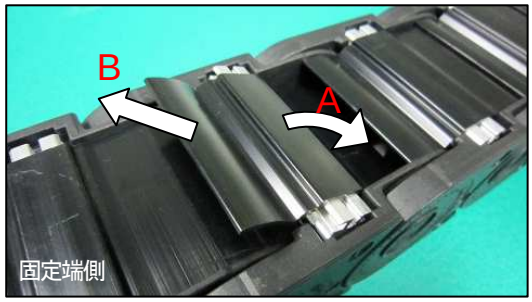
分割状態

3 カバーの取外し

※外周側カバー、内周側カバーとも同じ要領です



①マイナスドライバー（先端幅 5mm 程度）を差込み、矢印の方向に回転させます。



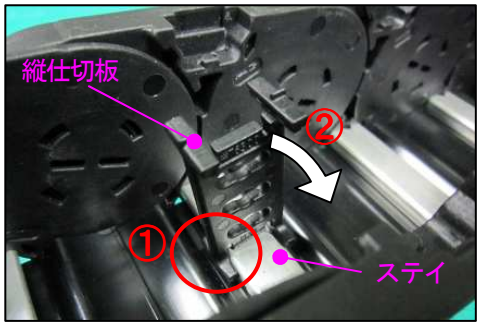
②カバーを矢印 A の方向に回転させたのち B の方向へ引き抜きます。

4 縦仕切板の取付け

縦仕切板はケーブル・ホース挿入時に取付けます。
外周側カバーあるいは内周側カバーを取外した状態で以下の手順で縦仕切板を取付けてください。

①縦仕切板の一方の係合部を、内周側あるいは外周側のステイに引っ掛けます。（右写真〇印）

②縦仕切板のもう一方の係合部を矢印の方向に押し込みます。

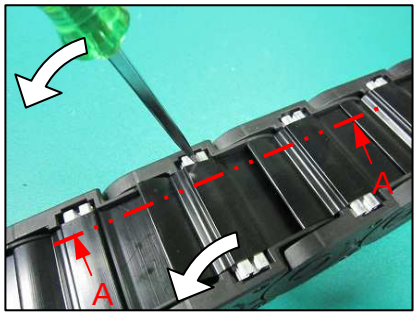


5 カバーの取付け

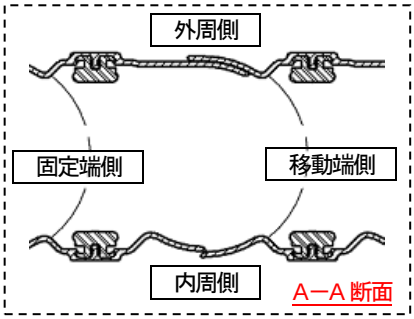
※外周側カバー、内周側カバーとも同じ要領です

①カバーを矢印の方向に挿入します。

（注）カバーの取付け向きにご注意ください。



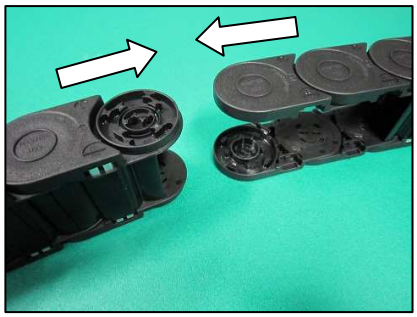
②カバーの一端にマイナスドライバーを差込み、矢印の方向に回転させ、もう一端を手で押さえ矢印の方向に押し込みます。



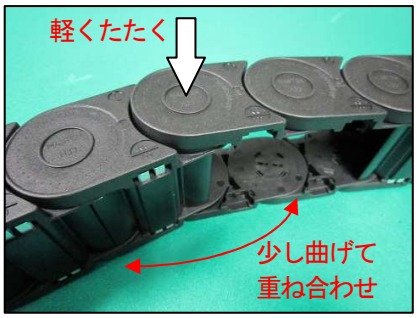
6 本体の連結

※ブラケットの取付けも同様の要領です

①移動端側の連結部から 2 リンク以上の外周側カバー及び内周側カバーを外します。



②矢印の方向に押し込みます。

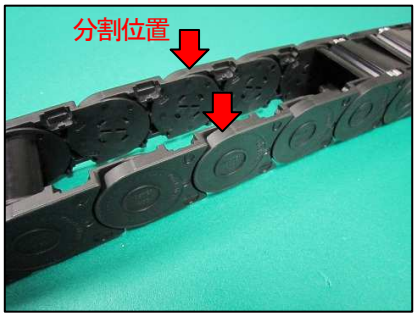


③少し曲げて(5° 程度)合わせ、リンク部を手で強く押すか、プラハンマーで軽くたたいてください。

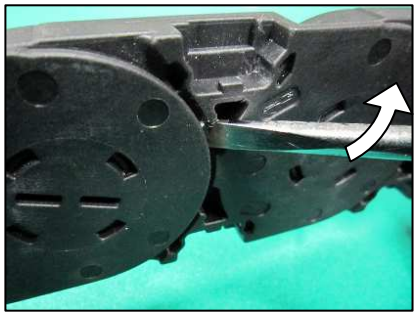
※リンク連結後、内周側カバー及び外周側カバーを取付けてください。

7 本体の分割

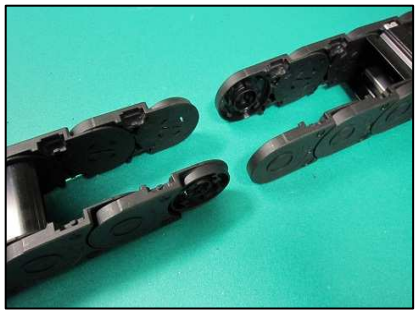
※ブラケットの取外しも同様の要領です



①分割位置の両側各 2 リンク以上の外周側カバー及び内周側カバーを外します。



②リンク連結部のドライバーマーク先端の凹部にマイナスドライバー（先端幅 4mm 程度）差込み、矢印方向こじるとリンクが外れます。

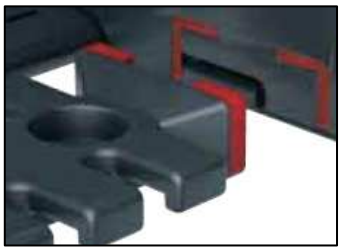


③両側のリンクをそれぞれ切り離し本体を分割します。

8 クシ歯形ケーブルクランプ・クランプ用レールの取付け

取付けの際は、ブラケットの取付側（外周側あるいは内周側）のカバーを取外してください。

●クシ歯形ケーブルクランプの取付け



ケーブルを固定した状態例

（注）結束バンドは貴社にてご用意願います。

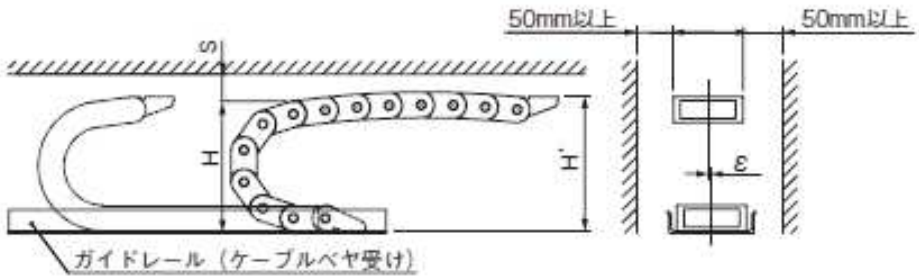
●クランプ用レールの取付け

ケーブルを固定した状態例

（注）ケーブルクランプ「LineFix」を別途ご注文いただく必要があります。

９ 取扱上の留意点

ケーブルベヤには、ご使用によっては、フリースパン部にふくらみやたわみがあらわれますが、当社能力線図内で選定されている場合は、使用上問題ありません。



1．ケーブルベヤの設置高さ（H'） は、
　総高さ H＋(10～30) mm　としてください。
2．余裕空間（S）は、100mm 以上　としてください。
3．ガイドレールを取付けてください。
4．移動端ブラケットと固定端ブラケットの取付面誤差（ε）は、6mm 以下にしてください。
5．ケーブル・ホースは屈曲性、耐摩耗性に優れた移動用のものをご使用ください。
6．ワイヤーブレード外装のものは、いたみやすいことがあるので、使用を避けてください。
7．ケーブル・ホースは積重ねて使用すると摩耗が生じやすいので、横に並べるか、横仕切板をご使用ください。
8．ケーブル・ホースは長さに余裕をもってセットし、適正な長さに調整のうえ、両端部でクランプしてください。
9．ガイドレール内に異物があると、破損の原因になりますので取除いてください。
１０．次の部品は部品送りといたしますので、取付時に組み込み願います。
　・仕切板
　・クシ歯形ケーブルクランプ
　・クランプ用レール

◎プラブラケットの取付面に凹凸があると、ブラケットが破損する場合もありますので、なるべく滑らかな平面に取付け願います。また、プラブラケットの取付ボルトを締めすぎると破損する場合もありますので下記推奨締付トルクにて締付け願います。

ボルトサイズ	推奨締付トルク
M6	2.6 N･m